

質問：お仏飯ぶつぱんについて質問です。  
我が家の朝食はいつもパンなのですが、やはりご飯を炊かなければいけませんか？

回答：朝がパンの日は、パンを小分けにしてお供えされてはいいかがですか。  
大事なのは、自分がいたただく前にその日の主食をお供えすることです。

お仏飯はなぜ上げるのか

みなさん、お家にお内仏ないぶつ(仏壇)がありますと、やはり平日頃から綺麗にして毎日お仏飯ぶつぱんを上げてお参りなさると思います。お内仏ないぶつ(仏壇)はその家の人の心を写すカガミですから、毎日自分の顔を洗うように綺麗にしていただけならと思います。

さて、そこでみなさんはどうしてお仏飯ぶつぱんを上げているのでしょうか。

「あの世でもご飯に困らないように」という方もいらっしゃるかもしれませんが、極楽浄土ではまったく食事に困らないと書いてあります。「もし食せんとおもう時は、自然に前にあ

り。」「百味の飲食、自然に盈満ようまん(みたされる)す。」「(仏説無量寿経ぶつせつむりょうじゆききょう 卷上)真宗聖典 p39)

一では、なぜお仏飯ぶつぱんを上げるのでしょうか。

今日食べるものがあることは、自分の力だけで手に入れられたものではありません。たくさんのご先祖が居てくれたから、いまの自分があり。さらにいろいろなご縁で、いま食事ができ生きていることができます。

たとえば、健康な身体であったこと。住んでいるところが平和で仕事があること。農家の方をはじめいろいろなご縁がととのってはじめて、いま食事ができ、そしてその食事ができること。今日を生きていけるのです。

そういうご縁に感謝をするために、また自分一人の力で生きているのではないことを日々確認するために、自分がいただく前にお内仏ないぶつ(仏壇)にお仏飯ぶつぱんを上げているのです。



むかしは「本尊(阿弥陀さまのこと)のいない家は、納屋(ものおき小屋)同然」という言葉がありました。子どもが家を持つようになると、餞別に親がお内仏ないぶつ(仏壇のこと)を買い与えるのが当たり前だったそうです。

阿弥陀さまの教え(仏法)は、日頃忘れてしまいがちなこれらのご縁を「智慧の光」となって私たちに思い出させ教えてくださいます。

その「智慧の光」にふれて、いろいろなご縁を思い出し感謝するためにも、お仏飯をお上げしてお参りなさってください。

南無阿弥陀仏  
南無阿弥陀仏

## 「正徳寺東日本大震災義援金」について

2011年の東日本大震災から4年以上の歳月が流れました。当初は、2年で仮設住宅から出て、4年後には普通に家庭に戻るはずでしたが、今年の2月時点でいまだに8万人以上が仮設生活を送っています。遠く離れた東京ではすでに過去のことになりつつありますが、被災された方たちはいまだ震災被害を被り続けているのです。

そうした中、正徳寺では震災直後に募財から100万円を「日本赤十字社」に、翌2012年には97万1049円を「日本赤十字社」、31万7087円を「真宗大谷派東京教区災害ボランティア支援金」に寄

付をしてまいりました。

それ以降もぼつぼつと門徒の皆様から義援金をいただいており、貯まった17万5990円を、現在も福島などで活動している「真宗大谷派東京教区ボランティア支援金」に寄付いたしました。

冒頭申し上げましたように、まだまだ震災からの復興は程遠く心苦しくありますが、正徳寺を通しての義援金はこれをもって一旦閉じたいと思います。皆様本当にありがとうございます。

いまだ避難を続けられている多くの方々を忘れず、これからも他のかたちで支援を続けていければと思います。よろしく願いいたします。

### ★秋彼岸

九月二十日（日）

二十六日（土）

### ★報恩講 十月三十日（金）

十月に詳細をご案内申し上げます

上げます

### ★子ども囲碁道場

十月 三日（土）二時より  
十一月 一日（日）二時より

★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku\_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせください。

とくに土曜日・日曜日などは  
混み合いますので、お早めに  
ご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の  
一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、  
日程が決まる前にお寺にご連絡ください。

他の方のお約束が入っており、  
先に決められた日程ではお受けできない  
場合がございます。

よろしく願いいたします。

### ★声明会（お経の練習会）

毎月最終土曜日 午後三時～四時半  
要予約（急な法務等で変更あり）  
参加費 500円/回  
稽古本「真宗大谷派勤行集」（赤本）

次回は 九月十二日（土）

十月十日（土） 茶話会

十一月二十八日（土）

ご参加される方は、前もってご連絡  
ください。

電話 03 (3471) 3938

[shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp](mailto:shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp)

■当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ご本尊は 阿弥陀如来です。

■宗祖は 親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟（東本願寺）を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。